

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150480020		
法人名	医療法人社団 高仁会		
事業所名	グループホーム悠々		
所在地	佐賀県多久市北多久町多久原2512-24		
自己評価作成日	令和4年1月14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年2月3日	外部評価確定日	令和4年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎日の日常生活の中で「洗濯、掃除、食器などの片付けやホーム菜園」等を、入居者と職員が一緒に行い、共に生活しています。ホーム菜園では苦瓜や芋苗を植えて、毎日入居者と一緒の水やりの管理を行い、11月には秋の収穫祭を行いました。また、入居者と職員で話し合い、その時期の旬の食材を使って入居者一人ひとりの「出来るところ」を取り入れ、料理作りやおやつ作りを行い、入居者が季節感を感じながら、生き生きと日常生活が送れるように支援しています。</p> <p>コロナ渦で外出の機会が少なくなりましたが、家庭的な雰囲気の中で入居者の思いや意思を尊重し、入居者が明るく楽しく過ごしていただけるように、季節ごとに年間レクリエーション、「父の日・母の日・七夕会・夏祭り・敬老会・忘年会・新年会・雛祭り」などを開催し、入居者一人ひとりが四季を感じながら、笑顔で楽しい時間を過ごして頂けるように支援しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>母体である病院と同じ敷地の中に施設はある。2階建ての1階に2ユニットのグループホームがあり、2階はデイケアの施設となっており、グループホームの入所者も利用することができる。施設に面してホーム菜園があり、入所者と職員の共同作業による簡易農作が行われている。植え付けから収穫、調理し食すことまで一緒に行うことが大事だと管理者は考えている。また互いに社会の一員であるという、利用者にとってここは第2の家庭であると感じてほしいとの強い思いがある。目指すところは入居者と職員が互いに認め合い、境を作らない支援のできるアットホームなグループホームである。(佐賀県まん延防止など重点措置適用中にてリモートにて調査を実施した)</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有している。また、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し、入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように努めている。	母体の高仁会理念に基づき、悠々の理念及び悠々ケア理念も職員間で共有している。また、各ユニット毎に日々のケアの指針をフロアに掲示し、入居者のニーズに沿ったケアが提供できるように努めている。	母体の理念とは別に、悠々独自のケア理念は、よりわかり易い言葉が使われている。いつでも確認できるようにと名札の裏に入れ、常時携帯されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年は中多久地区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図るように努めている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で活動を控えている。	例年は中多久地区の夏祭りや地区一斉清掃、近くの幼稚園との交流(七夕会)、毎月ボランティア活動団体(ほたる文庫、ひまわりの会、カラオケ慰問)の受け入れを行い、地域の方との交流を図るように努めている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で活動を控えている。	コロナ禍の中、感染予防のためにも地域との交流は極力控えている。収まった地域との交流がスムーズにできるように、区の代表者や幼稚園などとの連絡は保っている。今年も幼稚園から年賀状が届いた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的な運営推進会議等を利用し、地域の方へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。また、認知症カフェを立ち上げ、相談助言等の活動も行っている。	定期的な運営推進会議等を利用し、地域の方へ認知症に関する理解・啓蒙を行っている。また、認知症カフェを立ち上げ、相談助言等の活動も行っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動計画を基に運営推進会議を開催している。(令和3年度は議事録回覧)そこで活動に関する取り組み状況を報告し、意見を頂いている。 また、出席者からの意見を汲み取り、サービス向上に努めている。	活動計画を基に運営推進会議を開催している。(令和3年度は議事録回覧)そこで活動に関する取り組み状況を報告し、意見を頂いている。 また、出席者からの意見を汲み取り、サービス向上に努めている。	2か月に1回、職員のみでの開催である。外部の関係者には議事録回覧(確認印押印)されている。	運営推進会議の目的をもう一度振り返っていただき、家族に参加していただくための工夫を期待する。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月1回開催される多久市地域ケア会議で情報交換を行い、関係性の構築に取り組んでいる。	毎月1回開催される多久市地域ケア会議で情報交換を行い、関係性の構築に取り組んでいる。	地域ケア会議は事例検討会もある。問題解決のためには実践現場と施策の整合性が大事であることを再確認する機会となっている。なんでも相談できる関係である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知している。また、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認している。	身体拘束ゼロ推進委員会と連携し、身体拘束を行わないケアの提供ができるように、年2回は研修会を開催し職員に周知している。また、契約書に身体拘束に関する事前協議書を取り交わし、基本的な考え、対処方法、家族の意向等を確認している。	身体拘束の事例はない。気づかないで行っている行為がないか、日常の中で気を配っている。その場で考える機会を作り、職員の共有認識を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し、虐待防止に努めている。また、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い、振り返りを行っている。	高齢者虐待に関する部署内研修や法人内研修に参加し、虐待防止に努めている。また、職員間で虐待につながる恐れがないか、定期的に話し合い、振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	基本的人権や倫理等に関する研修会へ参加している。不参加者はレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来るように努めている。	基本的人権や倫理等に関する研修会へ参加している。不参加者はレポート提出を行い、人権教育を基にしたケアの展開が出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか最後に確認を行っている。	契約締結・解約・改定に関しては、口頭及び文書にて説明を行い、納得して頂けたか最後に確認を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関前にみなさまの声のボックスを設置し、事業所の運営及び意見や要望を確認できるようにしている。また、面会時に職員が家族に意見や要望がないか確認している。 苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置している。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。	玄関前にみなさまの声のボックスを設置し、事業所の運営及び意見や要望を確認できるようにしている。また、面会時に職員が家族に意見や要望がないか確認している。 苦情相談窓口として、管理者及び計画作成担当者を配置している。契約書内にも苦情処理に関する条項を設けており、申立機関の説明も行っている。		家族の訪問時や手紙などで、問いかけるよう心がけており、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意している。出された意見はミーティングで話し合う、また現場での改善が難しい案件については、代表者を交えた会議の中で話し合い、反映させている。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	東西ユニット全体で定期的にミーティングを開催し、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け、業務改善に取り組んでいる。	東西ユニット全体で定期的にミーティングを開催し、職員からの意見や提案を聞き、反映させる機会を設け、業務改善に取り組んでいる。		日ごろからコミュニケーションを図るよう心がけ、職員の意見や要望を聞くようにしている。夜勤の負担を減らすために夜勤専従職員の導入を行った。また利用者の生活リズムに合わせた勤務時間の調整も行った。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内の人事評価制度を基に各職員が年間目標の立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができるような仕組みを整備している。	法人内の人事評価制度を基に各職員が年間目標の立案・自己評価・他者評価を行い、向上心を持って仕事ができるような仕組みを整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会に関する情報配信を行い、研修に必要な時間調整やeラーニング等に参加できる機会と確保に努めている。	法人内外の研修会に関する情報配信を行い、研修に必要な時間調整やeラーニング等に参加できる機会と確保に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で実施できていない。 次年度は同業者との交流の場を設け、サービスの質の向上に取り組んでいく予定である。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で実施できていない。 次年度は同業者との交流の場を設け、サービスの質の向上に取り組んでいく予定である。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居にあたり本人や家族から、要望及び生活歴や既往歴等を聞き、情報収集に努めている。その情報を基に支援し、信頼関係の構築に努め、入居者の方が安心して日常生活が送れる場となるように努めている。	入居にあたり本人や家族から、要望及び生活歴や既往歴等を聞き、情報収集に努めている。その情報を基に支援し、信頼関係の構築に努め、入居者の方が安心して日常生活が送れる場となるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始にあたり、家族から困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めた支援と、家族との信頼関係の構築に努めている。	サービス利用開始にあたり、家族から困っていることや要望等を十分に聞き、職員は家族も含めた支援と、家族との信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族から要望を聞き、張りのある日常生活を提供できるように努めている。	入居前に本人や家族から要望を聞き、張りのある日常生活を提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	計画作成担当者として受け持ち担当者が中心となり、入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なことを活かせるように努めている。また、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいる。	計画作成担当者として受け持ち担当者が中心となり、入居者の自立支援を踏まえ、入居者が日常生活の中で出来ることや得意なことを活かせるように努めている。また、生活歴や趣味を活かし、入居者と職員が共に支え合いながら過ごせるように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っている。また、タイムリーな情報伝達にも努めている。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が図れるように取り組んでいる。	入居者と家族との関係性が維持できるように、必要に応じて電話連絡を行っている。また、タイムリーな情報伝達にも努めている。面会時には日頃の様子を伝え、入居者と家族の絆が図れるように取り組んでいる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内している。また、入居者と家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い、共に喜べるように努めている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で面会制限を行っており、オンライン面会に対応している。	入居前に家族にできるだけ友人や知人の方も気軽に面会に来て頂けるように案内している。また、入居者と家族との交流を大切にし、母の日や父の日、敬老会等の日に記念行事を行い、共に喜べるように努めている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で面会制限を行っており、オンライン面会に対応している。	感染対策の配慮したうえで、家族対応での病院受診や理美容へ出かけることは継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を把握し、常に入居者が孤立しないように関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活を送れるように支援している。	職員は入居者一人ひとりの性格や特性を把握し、常に入居者が孤立しないように関わりを持ち、入居者同士が円満な日常生活を送れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等により契約が終了しても、ご家族の了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い、必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行ってる。	入院等により契約が終了しても、ご家族の了承のもとお見舞いに行き、状態や状況の確認を行い、必要に応じて、本人や家族に新たなサービスの紹介等を行ってる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者一人ひとりと向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら、本人の希望や意向を確認している。 又、家族の希望や意向も確認し、入居者が快適に日常生活を送れるように検討している。	職員は入居者一人ひとりと向き合い、表情や態度、雰囲気等を汲み取りながら、本人の希望や意向を確認している。 又、家族の希望や意向も確認し、入居者が快適に日常生活を送れるように検討している。	朝食は入居者の起床に合わせて提供している。日々の関わりの中で思いの把握に努めている。自分で化粧される利用者も居られ、できることやしたいことの支援を、大事にしたいと考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境、趣味や関心があることを確認するようにしている。また、入居前のケアマネジャーや相談員にもサービス経過等を確認するようにしている。	入居時に本人や家族から生活歴や生活環境、趣味や関心があることを確認するようにしている。また、入居前のケアマネジャーや相談員にもサービス経過等を確認するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、入居者一人ひとりの心身の状態や能力に応じて、自立した日常生活を楽しく送れるように努めている。	本人の「出来る事・出来ない事」を日常生活の中で把握するとともに、心身の残存機能等を見極めながら、入居者一人ひとりの心身の状態や能力に応じて、自立した日常生活を楽しく送れるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に入居者と家族から希望や要望を確認している。入居者がより良く暮らすための課題やケアのあり方について、計画作成担当者と職員間で話し合い、介護計画の更新を行っている。また、入居者の状況や状態に応じて、介護計画の検討・変更を行っている。	定期的に入居者と家族から希望や要望を確認している。入居者がより良く暮らすための課題やケアのあり方について、計画作成担当者と職員間で話し合い、介護計画の更新を行っている。また、入居者の状況や状態に応じて、介護計画の検討・変更を行っている。	転倒による骨折の危険のある入居者に対して、車いすによる移動ではなく、歩行訓練の実施や福祉用具の検討、実践を具体的に進めている。本人や家族の意向を踏まえながら専門職としての意見も入った計画書になっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者一人ひとりの介護計画に沿ってケアの提供を行い、その状況や状態に応じた取り組みや気づきなどを経過記録し、介護計画の見直しに活かしている。	入居者一人ひとりの介護計画に沿ってケアの提供を行い、その状況や状態に応じた取り組みや気づきなどを経過記録し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応している。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしているが、家族の状況によっては柔軟に対応している。又、入居者や家族の意向により、急な外出や外泊にも対応している。	個別に理美容室や買い物外出など、個々のニーズに対応している。病院受診の付き添いは基本的に家族へお願いしているが、家族の状況によっては柔軟に対応している。又、入居者や家族の意向により、急な外出や外泊にも対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の生活を支えるものとして、理美容室や食事などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流会、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりの支援を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で活動を控えている。	入居者の生活を支えるものとして、理美容室や食事などを行う場所への外出、地域住民と触れ合う機会となる地区行事や幼稚園との交流、ボランティアの方々との触れ合い等、豊かな暮らしづくりの支援を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防で活動を控えている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っている。また、心身の状態把握に努め、法人内の中多久病院の定期受診やかかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえ対応を行っている。	契約時にかかりつけの医療機関の確認を行っている。また、心身の状態把握に努め、法人内の中多久病院の定期受診やかかりつけの医療機関への受診も入居者と家族の意向を踏まえ対応を行っている。	法人内の病院は精神科ということもあり、専門医としてかかわることが多い。入所者の多くがかかりつけ医を継続されている。緊急時や夜間は法人内病院で対応できるという利便性はある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、ホーム内の看護師に状態報告している。また、急変時には中多久病院の外来や病棟の看護師に状態報告を行い、医師の診察を受けている。状態に応じて他医療機関を受診し、随時、家族との連絡調整も行なっている。	日常的に入居者の健康状態の観察を行い、ホーム内の看護師に状態報告している。また、急変時には中多久病院の外来や病棟の看護師に状態報告を行い、医師の診察を受けている。状態に応じて他医療機関を受診し、随時、家族との連絡調整も行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院された場合は家族の了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めている。また、入院先に面会を行い、病院職員から可能な限りの情報収集を行い、双方の関係性の構築に努めている。家族と職員の間でも情報交換を行い、病状の把握等にも努めている。	入退院された場合は家族の了承のもと、入院先の病院へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるように努めている。また、入院先に面会を行い、病院職員から可能な限りの情報収集を行い、双方の関係性の構築に努めている。家族と職員の間でも情報交換を行い、病状の把握等にも努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合における対応に係る指針を説明している。また、入居中に重度化されると予測される場合は、事前に家族と話し合う場を設け、事業所でできることを十分に説明し、今後の方針を家族と話し合っている。	入居時に重度化した場合における対応に係る指針を説明している。また、入居中に重度化されると予測される場合は、事前に家族と話し合う場を設け、事業所でできることを十分に説明し、今後の方針を家族と話し合っている。	看取りについての実績はない。事業所が対応し得る最大のケアについて説明している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全管理委員会を中心に事故対応マニュアルを活用し学習会を開催している。また、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用方法やボディコール・ハートコールの訓練を行っている。	安全管理委員会を中心に事故対応マニュアルを活用し学習会を開催している。また、定期的に緊急時の訓練としてAEDの使用方法やボディコール・ハートコールの訓練を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練と自然災害対策訓練を行っている。また、運営推進会議で、災害に関する情報共有や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えている。また、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をしてもらっている。	年2回の防災訓練と自然災害対策訓練を行っている。また、運営推進会議で、災害に関する情報共有や検討を行い、災害時は地域住民の協力を得ることを伝えている。また、入居者の方が昼夜を問わず避難できるように出口の説明を行い、避難経路の確認をもらっている。	近年は自然災害の危険が増していることから、地区周辺の危険個所など市役所や消防署と共有している。備蓄品は母体病院と合わせて3日分を準備している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	悠々の理念を基にしたケア目標の中に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めている。また、プライバシーを侵害しないように訪室時はノックやトイレ誘導の声かけの仕方についても留意している。	悠々の理念を基にしたケア目標の中に、利用者が自分らしく誇りを持って生活できることを掲げており、日々、入居者の人格の尊重とプライバシーの配慮に努めている。また、プライバシーを侵害しないように訪室時はノックやトイレ誘導の声かけの仕方についても留意している。	その人の守るべき情報は決して漏らさないことは基本とし、人権についての意識は研修などを通して再確認する機会がある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の意思決定は、できるだけ選択式で問いかけ、入居者の意向や意思を尊重するように努めている。また、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいる。	日常生活の意思決定は、できるだけ選択式で問いかけ、入居者の意向や意思を尊重するように努めている。また、家族からもサポートして頂き、入居者の希望や思いを引き出すように取り組んでいる。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりと自分らしく過ごせるように入居者のペースを尊重することをケア目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて興味や趣味を取り入れながら、入居者のQOLを大切に支援を行っている。	ゆったりと自分らしく過ごせるように入居者のペースを尊重することをケア目標に掲げ、入居者一人ひとりのペースに合わせて興味や趣味を取り入れながら、入居者のQOLを大切に支援を行っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の協力を頂きながら本人が昔から好まれている服を着て、一日を快適に過ごせるように支援している。また、各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしている。	家族の協力を頂きながら本人が昔から好まれている服を着て、一日を快適に過ごせるように支援している。また、各居室内に洗面台を設置しており、居室内で洗顔や化粧ができるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に食事前の準備や食後の後片付けなどに取り組んでいる。又、悠々の畑で採れた作物で料理したり、定期的に手作りおやつを行い、作る楽しみや食べる楽しみの場となるように取り組んでいる。	入居者と一緒に食事前の準備や食後の後片付けなどに取り組んでいる。又、悠々の畑で採れた作物で料理したり、定期的に手作りおやつを行い、作る楽しみや食べる楽しみの場となるように取り組んでいる。	食事は外注であるため、オヤツづくりや行事食を計画し、一緒に作って食する機会を作るようにしている。一緒に作業できなくても雰囲気を感じてもらうような配慮もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い、記録するようにしている。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしている。又、毎月体重測定を行い、健康管理に努めている。	入居者一人ひとりの食事摂取時の状態観察や摂取量の確認を行い、記録するようにしている。特に脱水に気を付け、一日の中で水分補給を十分に行うようにしている。又、毎月体重測定を行い、健康管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりの能力に応じて声かけ、見守り、介助を行っている。又、歯科治療が必要な方は、協力歯科医に往診に来て頂いている。	入居者一人ひとりの能力に応じて声かけ、見守り、介助を行っている。又、歯科治療が必要な方は、協力歯科医に往診に来て頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者一人ひとりの排泄パターンや行動パターンを把握し、事前に声かけトイレ誘導し、失禁が減少するように支援している。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めている。	入居者一人ひとりの排泄パターンや行動パターンを把握し、事前に声かけトイレ誘導し、失禁が減少するように支援している。又、必要な排泄ケア用品の使用を行い、尿もれ防止や褥瘡防止に努めている。	紙おむつの負担額は0から1万円程度。昼間はトイレへの誘導に取り組んでいる。個々人の排泄のサインを職員間で情報交換したり、便秘に対する対応も適切なケアが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い、腸の活性化に努めている。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘改善に取り組んでいる。	日常生活の中で乳製品や食物繊維及び水分飲用を促し、散歩や軽運動を行い、腸の活性化に努めている。必要に応じて下剤の投与を行い、便秘改善に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日可能であり、個別に入浴を実施している。入浴前には血圧測定と浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めている。	入浴は毎日可能であり、個別に入浴を実施している。入浴前には血圧測定と浴室の温度管理を行い、ヒートショック防止に努めている。	基本は週3回入浴である。同性での介助を希望される入所者については同性で対応している。入浴実施の判断は事前に主治医に相談し、対応マニュアルを確認している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠状態の観察や把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用もを行い、安眠できるように支援している。	室温調整や光・音等に配慮し、睡眠状態の観察や把握を行い、日中の過ごし方にも留意している。不眠傾向の方は医師の指示のもと眠前薬の服用もを行い、安眠できるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬等による状態変化の観察に努めている。	薬は職員で管理を行い、薬剤情報提供書を基に、薬品名・用法・用量等を確認し、内服薬等による状態変化の観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別的に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように取り組んでいる。また、年間レク計画をもとにホーム行事を行い、四季の移り変わりを感じ、気分転換が図れるように努めている。	入居者一人ひとりの生活歴や関心のあるものを個別的に取り入れ、入居者の楽しみや生きがいとなるように取り組んでいる。また、年間レク計画をもとにホーム行事を行い、四季の移り変わりを感じ、気分転換が図れるように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室等の外出やドライブなどを行っている。又、家族と協力しながら外出や外泊に関する支援も行っている。令和3年度はコロナ感染予防で活動を控えている。	入居者の希望により日常的に散歩や買い物・理美容室等の外出やドライブなどを行っている。又、家族と協力しながら外出や外泊に関する支援も行っている。令和3年度はコロナ感染予防で活動を控えている。	施設玄関前や傍にある畑へは日常的に出ているが、買い物やドライブなどの敷地外への外出は控えている。新型コロナウイルス感染が落ち着いたら活動の機会を再開したいと考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員で行っているが、支払い直前に入居者の方にお金を手渡し、お釣りをもらえるようにしている。	金銭管理は職員で行っているが、支払い直前に入居者本人にお金を手渡し、お釣りをもらえるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の意向を尊重し、電話や手紙はその都度、対応している。入居者の家族に電話したり、知人の方に暑中見舞いや年賀状の投函を行っている。	本人の意向を尊重し、電話や手紙はその都度、対応している。入居者の家族に電話したり、知人の方に暑中見舞いや年賀状の投函を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っている。また、入居者が四季を感じられるように、季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしている。	全入居者が共用の空間で、毎日快適に居心地よく日常生活を送れるように(音・臭い・照明・空調)の管理を行っている。また、入居者が四季を感じられるように、季節に応じた置物や飾りつけを行うようにしている。	居間にはソファが置かれ、個々の入居者が心地よく、また安心感のある環境となるように配置されている。四季を感じるができるように掲示物は季節ごとに変えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように、席の配慮を行い、入居者同士の交流が深まるように支援している。また、居間にはテーブル以外にもソファを数ヶ所設け、入居者が思い思いに過ごせるような環境づくりを行っている。	入居者一人ひとりがゆっくりと穏やかに過ごせるように、席の配慮を行い、入居者同士の交流が深まるように支援している。また、居間にはテーブル以外にもソファを数ヶ所設け、入居者が思い思いに過ごせるような環境づくりを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂いている。入居者の方が快適に過ごせるように希望や好みを取り入れながら、入居者一人ひとりに適した空間づくりを行っている。また、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。	自宅で使い慣れた家具や物品等を居室内に持参して頂いている。入居者の方が快適に過ごせるように希望や好みを取り入れながら、入居者一人ひとりに適した空間づくりを行っている。また、入居後も入居者や家族と話し合いながら、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。	居室は畳である。設立当時は布団の習慣があったが、現在は多くの居室がベッドを導入している。トイレと洗面所がある。それぞれの入居者の居心地の良さを配慮したものとなっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東ユニット)	自己評価／ユニットA(西ユニット)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりのADLや残存機能を職員間で共有し、入居者が「できること」や「わかること」は、声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように工夫している。	入居者一人ひとりのADLや残存機能を職員間で共有し、入居者が「できること」や「わかること」は、声かけ見守りながら、安全で自立した日常生活が送れるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない